

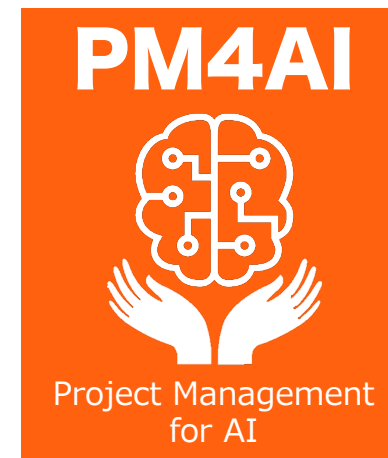
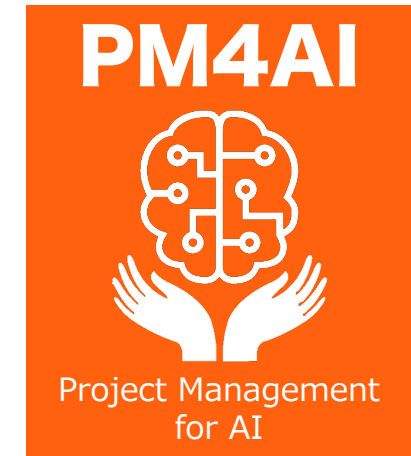
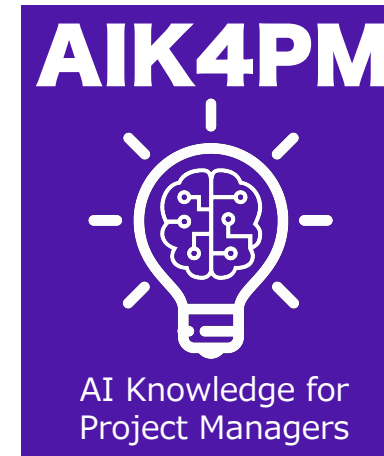
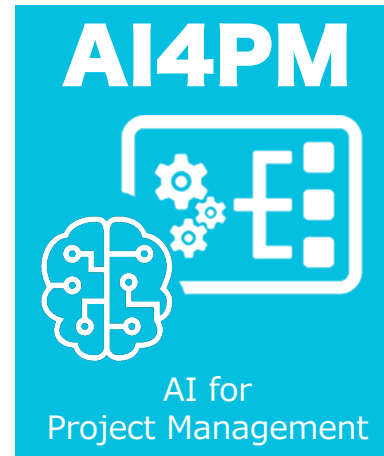
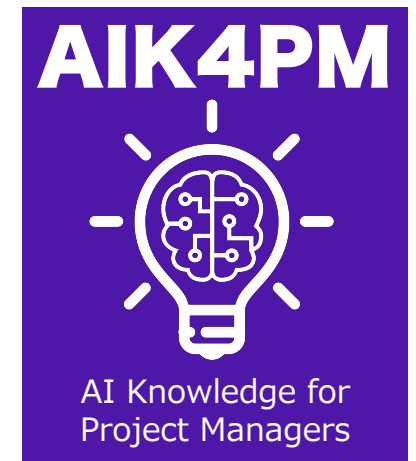
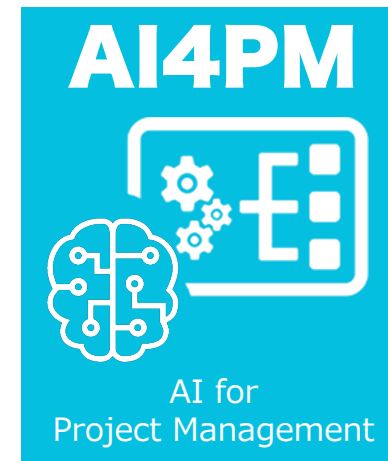
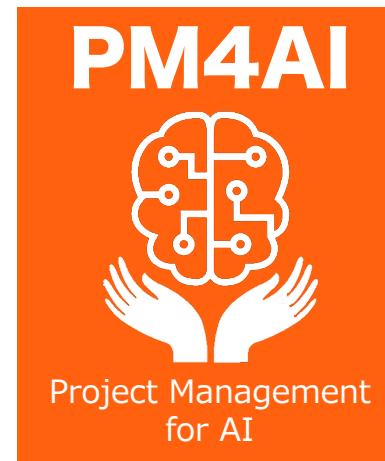
# AI@Work Study Group

## 2022 Kick off

2022年1月24日

AI@Work Study Group

武上弥尋・渡邊恒文

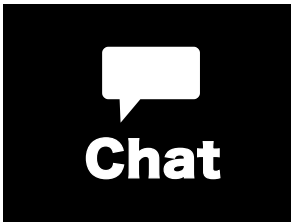


# ご参加にあたってのお願い



ご質問はチャットへ、各WGへの質問はWG#を記述

- ・ 時間内で難しい場合も、Ask Us Anything(AUA)で回答



気づきや感想の共有もチャットへ

- ・ 送信先は「すべての参加者とパネリスト」を選択



AUA（任意参加）で何なりとお聞かせください

- ・ AIやProject Management、AI@Workへのご質問・ご意見 等々



アンケートとPollyで、参加WGをお知らせください

- ・ アンケートで参加予定、Slack内のPollyにて正式申込（名簿反映）



ご参加後はアンケートにご協力を！

- ・ 終了後、チャットにてSurveyMonkeyのリンクをご連絡

# 1/24 AI@Work 2022 Kick off

目的：AI@Work Study Groupの成果ふりかえりと2022年計画の共有

19:00 - 19:15 **AI@Work Retrospective & 2022 Plan**  
AI@Work Study Group 代表 武上 弥尋

19:15 - 19:30 **WG1 PM4AI Retrospective & 2022 Plan**  
WG1 Leader 岡元大輔

19:30 - 19:45 **WG2 AI4PM Retrospective & 2022 Plan**  
WG2 Leader 栗野哲兵

19:45 - 20:00 **WG3 AIK4PM Retrospective & 2022**  
WG3 Leader 掛札雄也

20:00 - 20:30 **AUA (Ask Us Anything)** ※任意参加・状況により延長あり  
Main Session: AI@Work全般  
Breakout Session 1/2/3: WG1/2/3



AI@Work Webページ  
(PMI日本支部HP内)



# 2022年の方針

3つのWGでスタートしたAI@Workは、PMI会員と知見を持つ外部の方々のご協力により、各WGにおいて想定以上の成果を上げることができました。

今年度は、PMI日本支部にて新たにコミュニティとして位置づけされた体制のもと、ミッション達成のために、昨年までの成果に基づいた戦略の見直しと、各WGの活動の先鋭化を図ります。

## <施策>

1. 体制変更（各WG Leader、PMO）と戦略の見直し
  - ・ AI@Workとしての戦略の見直し
  - ・ 各WG活動の先鋭化
2. コミュニティとしての活動への移行
  - ・ 外部連携による「オープンな共創」の検討・推進

# AI@Work - 2022 Master Schedule (as of 2022/1/17)

## Conference/SME Discussion/PMIJ Forumでの対外発信や成果共有、コミュニティ制度への移行

2021-2022	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
AI@Work 対外発信・成果共有			AI@Work Conference (第4回)	▲x/xx	▲x/xx SME Discussion (第3回)			▲x/xx PMI Japan Forum (講演3 or 4枠)		▲x/xx SME Discussion (第4回)	▲x/xx AI@Work Conference (第5回)		
Kick off Retrospective & Planning	→ ▲1/24 2022 Kick off							→				→	
	2020 Retrospective & 2021 Planning							Cycle5 Retrospective				2023 Planning & 予算	
Cycle5実施 (WG1/2/3 活動)		#1 ▲	#2 ▲	#3 ▲	#4 ▲	#5 ▲	#6 ▲						
Cycle6実施 (WG1/2/3 活動)								#1 ▲	#2 ▲	#3 ▲	#4 ▲	#5 ▲	#6 ▲
コミュニティ制度への移行 外部連携による 「オープンな共創」へ (非会員も参加可能)		→		▲コミュニティ制度への移行発表 (Conference内)									
		AI@Work 参加者ガイドライン制定		「オープンな共創」立ち上げ						「オープンな共創」実施			
		→		支部へのコミュニティ設立審議						→			

# AI@Work 2022-

\*新任

WG1

## PM4AI

Leader 岡元 大輔\*  
Sub Leader 小山 恵一郎  
運営支援

## AI@Work

代表 武上 弥尋  
副代表 渡邊 恒文

## AI@Work PMO

Leader 佐藤 美一\*

## PMIJ 事務局

三島 邦彦

WG2

## AI4PM

Leader 栞野 哲兵\*  
Sub Leader 一柳 晶子\*  
運営支援

WG3

## AIK4PM

Leader 掛札 雄也\*  
Sub Leader 根元 侯作\*  
運営支援

## AI@Work Advisory Board

PMI WW 神庭 弘年  
PMI Japan  
森田 公至, 齋藤 学, 松本 弘明

# AI@Work 2020-2021

WG1

## PM4AI

Leader 板橋 宣孝

Sub Leader 小山 恵一郎

運営支援

## AI@Work

代表 武上 弥尋

副代表 渡邊 恒文

## AI@Work

運営支援 (TBD)

## PMIJ 事務局

三島 邦彦

WG2

## AI4PM

Leader 林 克郎

Sub Leader 栗野 哲兵

運営支援

WG3

## AIK4PM

Leader 佐藤 美一

Sub Leader 細水 真人

運営支援

## AI@Work Advisory Board

PMI WW 神庭 弘年

PMI Japan

森田 公至, 齋藤 学, 松本 弘明

# AI@Work – 2021年の主要な成果

(as of 2021/12/10)

オープンな運営や知見共有、 対外発信4回(Conference×2, SME Discussion×2)、 成果物公開2種、 メンバー32%増

## Big is great

“AI”として扱われる領域は多岐  
大人数だからこそできることもある

**12**テーマ **41**チャンネル

メンバー 2020:125名 → **166**名

## Anywhere

Slack+Web会議、Slackアプリ連携で  
情報共有もさらに強化

場所制約の解放+時間の有効活用  
COVID-19下でも活動拡大中

Active members (by Slack Analytics) **60~80**

## Virtual/Open Collaboration

Slackアプリ連携で情報共有も一層強化  
Slack無料枠上限の1万件に近々到達

Messages sent累計 2020: 4,008 → **9,977**

## Diversity

多様な実務経験・世代・立場・役割  
(ユーザー企業・ITベンダー・AIベンチャー etc.)

多様な視点をもたらす新たな気づき

User **34%** IT **49%**

## New Generation

Digital Native世代との協業  
PPPM, PMI会員 以外の参加

Non-PMIJ member 2020: 32% → **36%**

## Asset & Skill

PMIJ Forum JDLA G検定合格  
**3**枠 (2020:2枠) **5**名 (累計9名)

成果物公開 対外発信 参加総数  
**2**種類 **885**名 (4回総計)



# AI@Work – 2021 1H 主要な発信 (as of 2021/12/10)

外部講演者を招いてのイベントを始動、フォーラムも含め、次の知見を発信

## AI@Work Conference (第2回: 3/30)

- ・招待講演「AI for DX, DX by AI ~リアルワールドビッグデータを活用するAI技術による価値創出~」  
本村 陽一 国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター首席研究員
- ・「AI×PM : PMI Global Trends」  
武上 弥尋 AI@Work 代表 日本アイ・ビー・エム株式会社 Data Science & AI Services Certified Executive Project Manager
- ・「MLOpsの今までとこれから ~AIの実社会での活用について~」  
岡元 大輔 AI@Work WG1 PM4AI/MLOps研究グループ 富士通株式会社 サービステクノロジー本部 プロジェクトマネージャー

参加者 **331**名

## AI@Work SME Discussion (第1回: 4/28)

- ・招待講演「普通の人々の失敗しない新規AI事業の立ち上げ方」 および 質疑応答/ディスカッション  
山内 三郎 アースアイズ株式会社 代表取締役

参加者 **221**名

## PMI日本フォーラム2021 (7/10-31) AI@Work Study Group 講演

- ・AIを身に着ける最初の入り口~AI-Readyになるためのファーストステップ~、そしてAIをPMに活用へ  
佐藤 美一 SBI FinTech Solutions株式会社 次長  
林 克郎 日本アイ・ビー・エム株式会社 ソフトウェアサービス企画部長
- ・AI導入プロジェクトを成功させるためにプロジェクトマネージャーが押さえるべきポイント  
和田 安有夢 株式会社ベイカレント・コンサルティング パートナー  
岡元 大輔 富士通株式会社 サービステクノロジー本部 プロジェクトマネージャー  
西山 淳 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 東日本技術第5部 部長代行
- ・AI×PM: Japan & Global Trends ~ここまでわかった、DS&AIプロジェクトの進め方  
武上 弥尋 / 渡邊 恒文 AI@Work 代表

AI4PM (WG2)  
AIK4PM (WG3)  
PM4AI (WG1)  
AI@Work

# AI@Work – 2021 2H 主要な発信 (as of 2021/12/10)

PMI Globalとの情報共有で2種のPlaybookを発信、製造業でのDX・AIとAIoT活動紹介の連動も企画

## AI@Work Conference (第3回: 11/13)

- ・招待講演「DXに向けた製造業におけるAI技術適用の実践」

浦本 直彦 株式会社三菱ケミカルホールディングス 執行役員 Chief Digital Officer

- ・「PMI & NASSCOM : Playbook for PM in Data Science & AI Projects 日本語版のご紹介」

小林 功 AI@Work WG1 PM4AI/AIプロジェクトの進め方 研究グループ enFaith LLC, CEO

- ・「AI×IoT×PMの実践 : The AIoT Playbook概要」

武上 弥尋 AI@Work 代表 日本アイ・ビー・エム株式会社 Data Science & AI Services Certified Executive Project Manager

参加者 **184**名

## AI@Work SME Discussion (第2回: 10/27)

- ・招待講演「AIで取得したデータをどう活用する!? 事例でみるAI有効活用」 および 質疑応答/ディスカッション

鈴木 浩嗣 株式会社オプティム ビジネス統括本部 Industrial DX事業部 デジタルソリューションユニット AIサービス担当マネージャー

参加者 **149**名

## AI@Work ホームページ開設 および 成果物公開

- ・データサイエンス/AIプロジェクトにおけるマネジメントのためのプレーブック

Playbook for PM in Data Science & AI Projects 日本語版

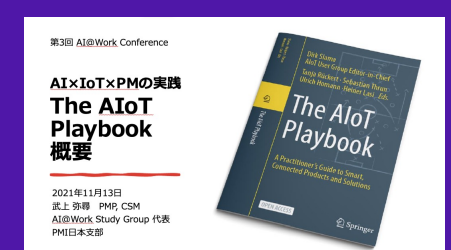
翻訳 : PMI日本支部 AI@Work Study Group 小林 功 監修 : 武上 弥尋、渡邊 恒文

- ・Playbook for PM in Data Science & AI Projects

日本語版のご紹介 小林 功

- ・The AIoT Playbook概要 武上 弥尋

成果物公開 **2**種類



# 対外発信の成果

参加総数 **885名** (4回総計)

PMIJフォーラムの参加数に匹敵

多数の申込・参加  
発信内容への賛同  
参加意義の高評価

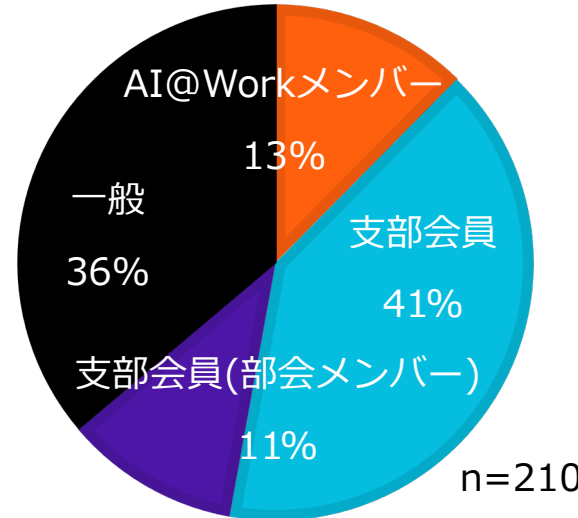
PDU付与なし (参加無料)  
PDU取得が目的ではなく  
内容本位での参画

一般参加者が約4割  
PMIJ日本支部として  
普段リーチできていない方  
かつ 先進領域に興味  
をお持ちの方が参画

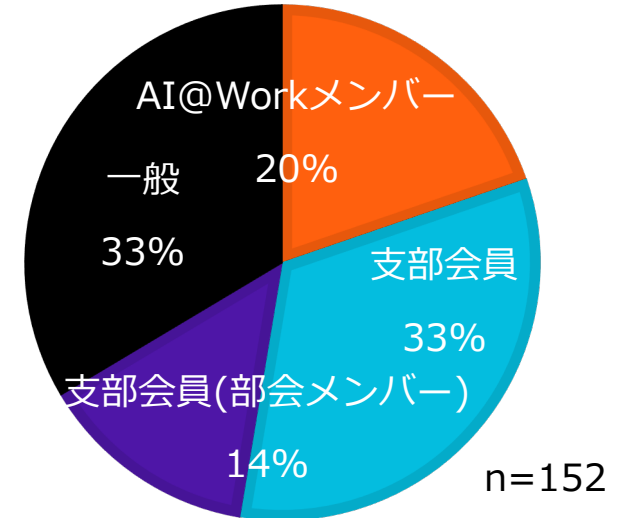
PMIJ日本支部の  
プレゼンス向上や  
アウトリーチに寄与



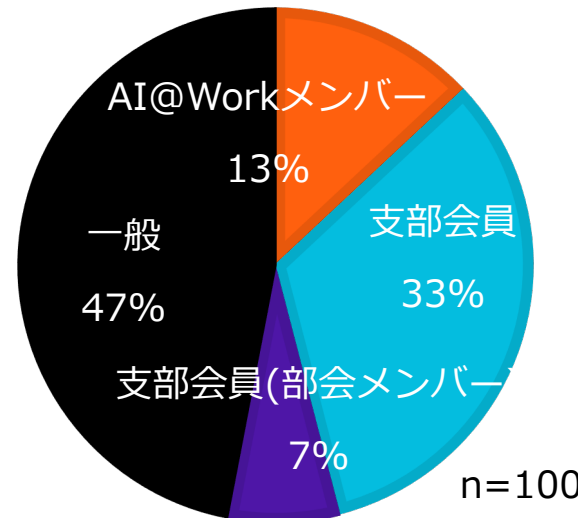
AI@Work Conference #2 (3/20)  
参加総数 **331名** (申込総数500名)



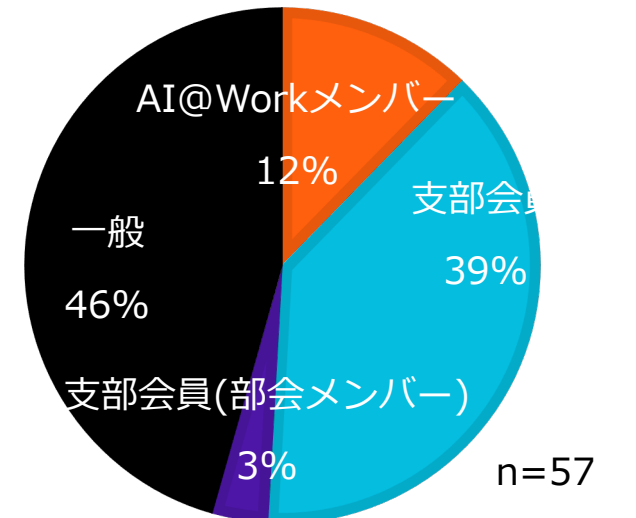
SME Discussion #1 (4/28)  
参加総数 **221名** (申込総数366名)



AI@Work Conference #3 (11/13)  
参加総数 **184名** (申込総数317名)



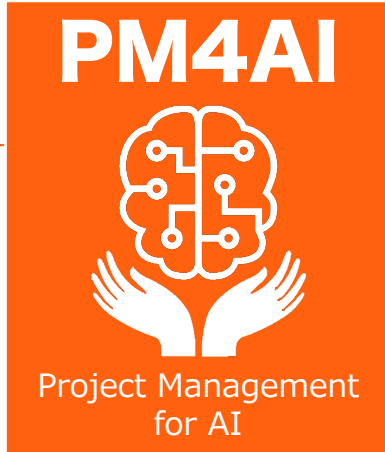
SME Discussion #2 (10/27)  
参加総数 **149名** (申込総数259名)



n=アンケート回答数

# 各WG 2021年研究テーマ

2020年の成果を踏まえ進展 or 新テーマを設定、PMIJ Forumにて全WGより発信



5

**5つのサブグループで研究を継続**  
(太字はPMIJ Forum 2021での講演テーマ)

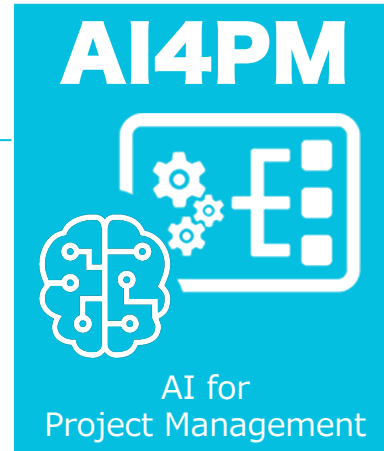
D0: AIプロジェクトの進め方

D1: **PoCからの実用化** (Cycle2総括)  
実用化・実用化後の課題  
(Cycle3より)

D2: **MLOps**

D3: **AIプロジェクト特有のリスク**

D4: **機械学習の品質マネジメント**



4

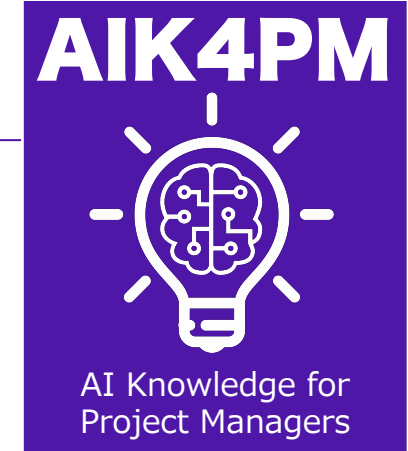
**4つのサブグループに分かれて活動**

A: AIレベル定義の完成  
(2020年活動成果の対外発信)

B: AI商品のレベル照合

C: 領域 (人材、組織、PMO)  
ごとの研究

D: モデル・プロジェクトで  
デモ作成



3

**「AIを理解する3段階」を推進**

1. 知る

輪講 & AI for Everyone受講

「俯瞰図から見える日本型“AI(人工知能)”  
ビジネスモデル」大野治, 2017.12.

2. 理解する

JDLA G検定 勉強会

3. 使える

ML演習 (Cycle4開始に向けた準備)

# 参考: AI@Work - Slack利用状況 (as of 2021/12/10)

## 🔧 All-Time Usage

Messages Sent

9,996

out of 10,000 messages



File Storage Used

5 GB

out of 5.0 GB of file storage



Apps and Integrations Installed

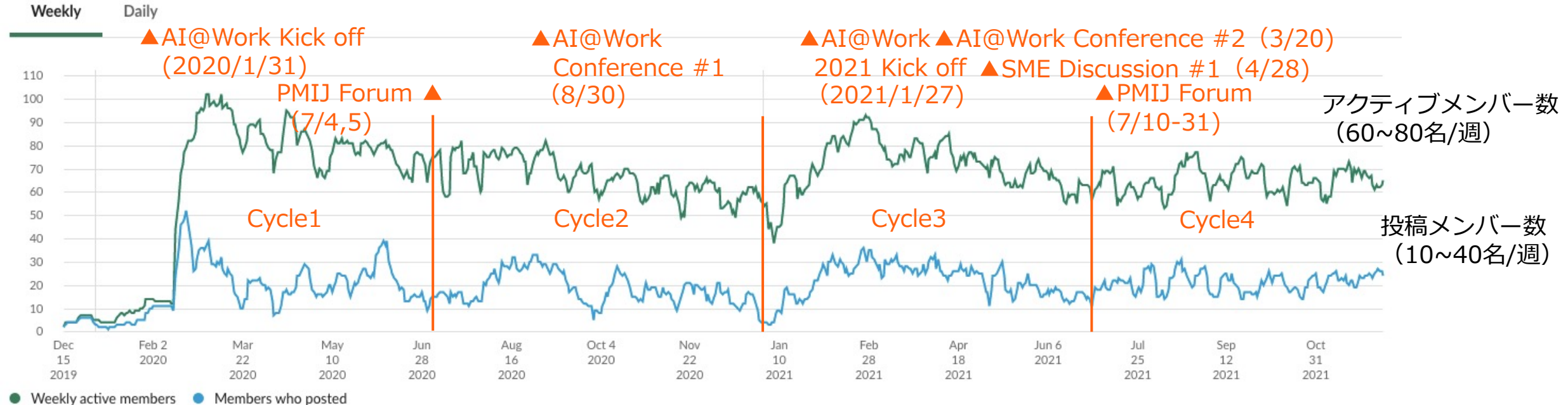
10

out of 10 apps and integrations



## Active members アクティブメンバー数 (全期間\*)

See how many people are active – meaning they posted a message or read at least one channel or direct message.



# AI@Work – Next Step 2022 (as of 2021/12/10)

引き続き、4つの方向性で取り組みを拡大し、成果のアセット化と研究内容の発展を図る

- AI関連団体（JDLA, 人工知能学会, 産総研… etc.）の発信は、研究対象とし情報共有・検討中
- PMI Globalと連携、Executive CouncilでのAI Knowledge NetworkをCo-Lead中（武上）
- Changemakers巻き込みとOutreachをさらに進め、知見の共有・発信により共に成長を図る

## Go To AI Community

- 核となる知見に関し、より専門的・高度な議論ができる場としていく
- AI関連団体との連携 など

## Go To Global Community

- AI×PMの視点  
PM4AI/AI4PM/AIK4PMの普遍性
- PMI Global などでの連携・発信

## Go To Evaluation

- 研究内容を磨き上げ世に問う知見としていく  
(新規性・有効性・信頼性)
- 広域調査・事例収集の追加  
PDSA (Plan-Do-Study-Act)

## Mindset

- パンデミックにより加速されたDigital Transformation、Innovation、AI Readyの必要性 など

参考:

## PMI 4.0とAI@Work

～「Changemaker」巻き込みと「Outreach」促進のモデルケース～

# 承認依頼：2022年での新活動形態移行(KN) (as of 2021/9/5)

「Changemaker」巻き込みと「Outreach」促進のモデルケースとして、新活動形態を開始したい。

## 新活動形態 (KN) 移行の背景

- ・ AI@Workは「Changemaker」巻き込みや「Outreach」で着実な実績を記録
- ・ AI×PMを軸とした「非会員を含むオープンな活動や参画者募集」は成果に直結  
(使用予算は、2020年:0円、2021年:20万円(講演謝礼5万円×4回)のみ)
- ・ PMI日本支部においてPMI 4.0を推進するモデルケースとして新活動形態を開始したい

メンバー 開始時116名 → **162名**  
Non-PMIJ member **36%**  
User **34%** IT **49%**

## 新活動形態 (KN) の目的

非会員を含むオープンな活動や参加者募集を前提とし、次の目的を達成する

- ・ 「Changemakers」の巻き込みおよび「Outreach」の促進
  - ・ 「参画者100名超」「リモート前提」での研究活動による成果継続とさらなる発展
  - ・ 「Changemakers」「Outreach」での共創による、AI×PMを軸とした知見の発信強化
- ※ 参加者ガイドラインの遵守を参画の前提とする

AI@Workメンバー ↗  
Active members ↗  
Changemakers ↗  
Outreach ↗  
知見共有・発信 ↗  
PMI Value ↗

## 新活動形態 (KN) に向けたマイルストーン

- ・ 新活動形態 (KN) の設立と参加者ガイドライン\*の承認  
(\*参加者ガイドライン：PMI AI Knowledge Networkでの規程準拠を予定)
- ・ 新活動形態 (KN) に関連する支部規約等の調整 (プログラム化を想定)
- ・ 新活動形態 (KN) のキックオフおよび目的の共有 (参加者および関係者)

**KN** (Knowledge Network)  
による成果の実現  
PMI 4.0の推進  
PMI Valueの強化



# Changemakers: Who Are They?

Changemakersとは？

積極的に変化を推進し、PMスキルが必要な人  
PM職 or 自身をPMとは決して考えない人かもしれない

- Changemakers are those who **proactively drive change** and **need project management *skills***.
- They might be project managers by profession, or they might be people who would never consider themselves project managers today.
- Project Management Pros are the consummate changemakers, but we will help all.

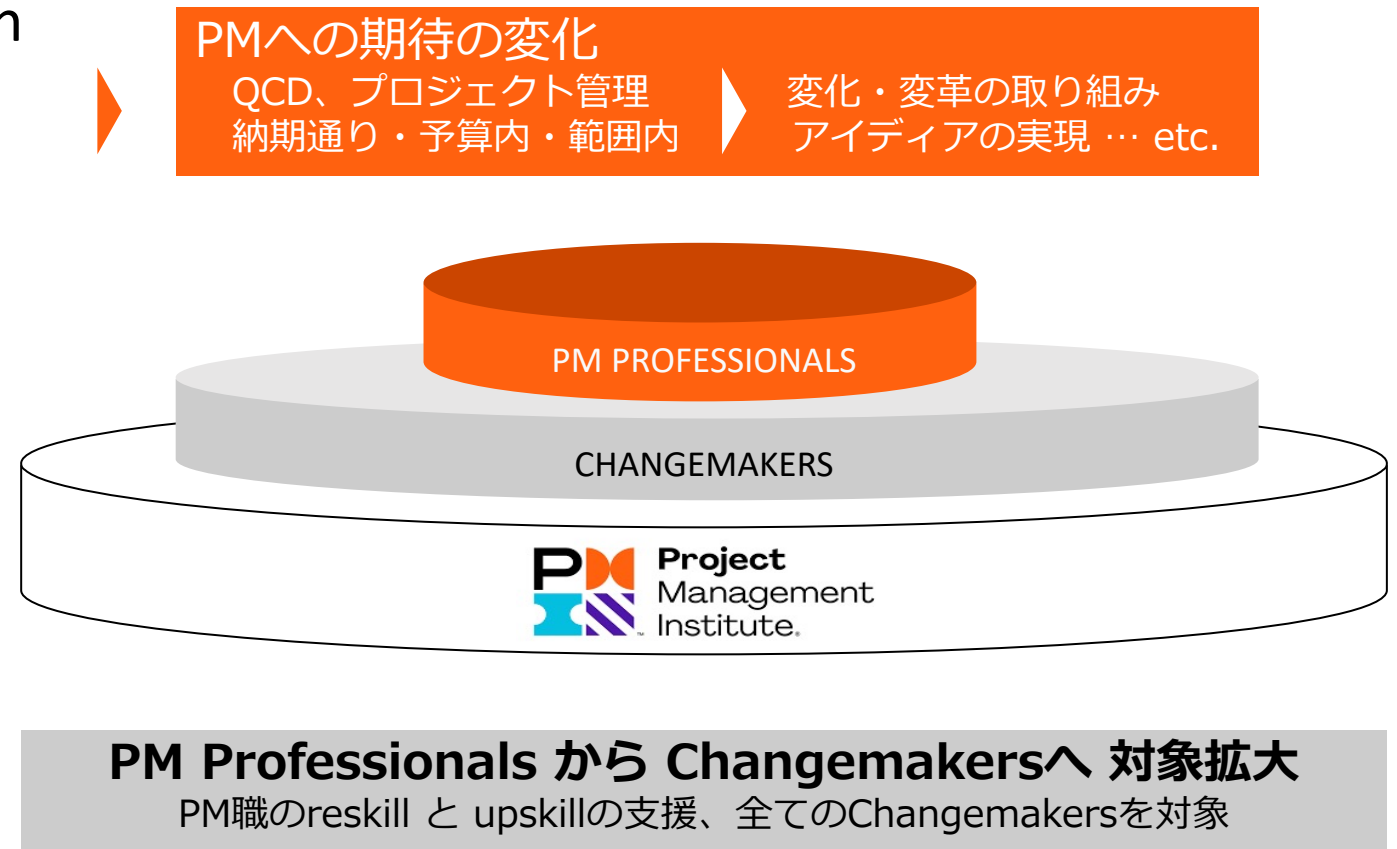
AI@Work参加者の多くが該当

Lawyers  
Engineers  
Astronauts  
**Project Managers**  
Activists  
Salespeople  
Marketers  
And Many More...



# As the Role of Project Management Evolves, So Must PMI

- Every organization is going through change today and relying project professionals to be key changemakers in organizations.
- PMI will support **both** our core audience of project professionals to reskill and upskill, while expanding to the larger audience of all changemakers.
- We all must adopt a growth mindset to adapt to new ways of working. **PMI is here to enable us all to work smarter.**



**AI@Workの  
あり方も同様**

# Expanded Stakeholder Universe

- **Project managers** are changemakers, but not all changemakers are project managers. PMはChangemakerだが  
全てのChangemakerがPMとは限らない
- Changemakers tackle **diverse global challenges**, and require a broad skillset with foundations in PM. Changemakerは、多様でグローバルな課題に取り組み、  
PMを基盤とする幅広いスキルセットを必要としている
- This new community of changemakers needs **mentorship and guidance** to step into our offerings and our industry. メンターシップやガイダンス必要  
(PM向け施策や業界への参画)
- As we expand our stakeholder universe, we need to expand our relationships with other **organizations and associations**. 他組織や団体との  
関係拡大

AI@Workの果たすべき/果たしてきた 役割

# OUR STRATEGIC FOCUS AREAS

HELPING BROADEN OUR REACH, EXPAND OUR IMPACT, AND BUILD LASTING RELATIONSHIPS

## AI@Workによる推進・拡大

### EXPANDED COMMUNITIES, TARGETED ENGAGEMENT

Outreach to external communities and new specialized communities within PMI will foster new types of engagement.

### COALITION OF ASSOCIATIONS

A diverse set of offerings and solid foundational experiences will draw in specific types of changemakers.

### SOCIAL BENEFIT

People who want to do good will join our efforts to help society. Many will stay as part of our community.

### ORGANIZATIONAL ADVOCACY (B2B), INDIVIDUAL ENABLEMENT (B2C)

Improving organizational capability to drive growth at scale.

